



矢倉学区  
未来のまち協議会

矢倉学区 (3月1日現在) (増減)  
人口 9,858人 (-11人)  
男性 4,838人 (-8人)  
女性 5,020人 (-3人)  
世帯数 4,197世帯 (-3世帯)

# 矢倉みらい通信

Yagura Mirai Tsushin

発行  
矢倉学区未来のまち協議会  
連絡先  
TEL・FAX 077-565-1560  
E-mail yagura@machikyou.jp

ホームページ  
<http://www.kusatsu.or.jp/machikyou/yagura/>

## 住民主役のまちづくりがスタート！

平成29年度を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。矢倉学区未来のまち協議会が発足して早や6年目を迎えます。去年は、未来のまち協議会の組織の見直しを行い、自主的な活動を行う新たな部会に改変し、活動してまいりました。そして、29年度から「矢倉まちづくりセンター」を矢倉学区未来のまち協議会が指定管理者として管理運営することになりました。今後は「地域で出来ることは地域で行い、出来ないことは行政と協働して行う」という考えのもと、地域の自主的な取り組みが重要とされます。そのために我々がしなければならないことを活動方針として取り上げました。



中谷緑郎会長

### 1、まちづくりセンターの職場体制

職員体制の有り方については、笑顔あふれる対応に心がけ、まちづくりセンターが住民の皆様との拠点として、矢倉のまちづくりを推進し、学びの場として活かしてもらえようなセンターにします。

### 2、地域の絆を大切にすまち矢倉

物の豊かさにより、失われつつある人と人との繋がり、助け合い、といった心の豊かさを再生させるための事業に取り組んでまいります。

### 3、安全で安心して暮らせるまち矢倉

子ども、高齢者などの災害弱者と言われる方々を交通事故、犯罪から守ること、一人暮らしの高齢者に対して見守り、巡回などを行います。また、災害発生時には、矢倉災害対策本部を中心に各町内会の自主防災組織との連携を行います。

### 4、活気あふれるまち矢倉

5つの推進部会が実施する事業に住民の皆さんが、積極的に参加して頂けるように啓発を行います。

以上4点を取り上げましたが、できることからコツコツと実施していきたいと思えます。是非とも皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

今年も昨年同様まちづくり活動に、ご支援ご協力をお願い申し上げますと共に新体制のもと、しっかりと前を向いて地域社会を作り上げていきたいと考えています。

今年一年良い年になることを願ひまして、ご挨拶と致します。

## ニュースポーツ交流大会の開催！

2月5日（日）、矢倉小学校体育館で掲題の交流大会「ディスコン」を行いました。2チームが、的となるボールにディスクを滑らせて近づけ、多く近づけられたチームの勝ちという、わかりやすいルールニュースポーツです。

老若男女を問わず気軽に参加でき、大会を通じて参加者同士の交流も行われ、また、健康増進にも寄与できるお勧めのニュースポーツと思います。

今回の結果は、以下のとおりでした。

優勝：草津みらい 準優勝：大塚団地B 第3位：玄甫B 第4位：室木

今後とも、健康増進や人との交流の大切さの機会を提供できる活動を行いますので、多くのご参加とご協力をよろしくお願い致します。（体育振興会）

## 子育てサロン「よせて！！ いいよ！！」

2月22日（水）、矢倉市民センターでのサロンに参加された17組の親子の皆さんは、ひなまつの歌を楽しく歌い、それぞれに工夫して、ゆらゆら揺れるかわいいおひなさま飾りを作りました。完成したおひなさま飾りを前に、子どもたちはとても嬉しそうでした。

このサロンは、お母さん同士の交流やお子さん同士の遊び、また、子育て相談なども気軽にしていだけます。ぜひ、ご参加ください。

次のサロンは、4月26日（水）10：30 からです。



ママと一緒に、うれしいなあ♪



見てみて、上手にできたよ♪

## 「戦争と平和学習とすいとんの会」を開催！

2月13日（月）、矢倉小学校の6年生を対象に掲題の授業を開催しました。「戦争と平和学習」では、講師が戦時中、中国へ電気技術指導に赴き、戦中戦後を通して日本に帰国したくてもできなかった事情や、空襲で防空壕に避難したこと、不十分な教育環境や、食べ物にも事欠く日々の生活等の実話に、児童らは興味深く聴き入っていました。

この後、児童らは女性部が作った「すいとん」を食べ、一様に「美味しい」と言っていました。戦時中の「すいとん」は不味い食べ物の代表格でした。平和な今日の「すいとん」は材料も豊富で、美味しく調理できることに幸せを噛みしめる老人クラブのメンバーもいました。

（老人クラブ）



当時は彷彿とさせる割烹着ともんべ姿

## 矢倉学区人権フォーラム 実践発表と講演の集い開催

2月18日（土）、矢倉市民センターの大会議室において41名の参加を得て、掲題の集いを開催しました。今年度のモデル町である東室木町の仲田推進員より、町内学習懇談会で「スマホなどによる子どものいじめ」について討論し、子どものシグナルを見逃さないためには、各家庭で「朝、顔を見て大きな声であいさつをする」「気になるそぶりが見られたら声掛けをする」など熱心な討論の様子がありました。次に人権センターの木村先生から、矢倉学区全体の人権の取り組みを報告いただきました。また、高穂中学校の太田校長先生には、生徒会の人権劇など高穂中学校の熱心な人権教育の取り組みについて、講演いただきました。今後も研修を重ねていきたいと思っています。

## 東室木町 救急・救命訓練の開催！

2月25日（土）、東室木町集会所で地震や事故等に備えて「家庭でできる緊急応急処置」「救急・救命に関する心構え」「AEDの使い方講習と訓練」を当町自主防災部と女性部の共催で実施しました。

湖南消防本部・南消防署の消防士の指導のもと、参加者は心臓マッサージ（胸部圧迫）や、AEDの装着方法等に真剣に取り組んでいました。

今回の訓練には、女性の方の参加が多く、日頃から家庭での応急処置や救急・救命への関心の高さに感銘するとともに、この体験を今後の地域の「見守り・助け合い」に活かしたいと考えています。



心臓マッサージに懸命に取り組む皆さん

### 矢倉学区災害対策本部机上訓練の実施！

2月19日（日）、矢倉市民センターにおいて、午前9時に「南海トラフ巨大地震（M9.0）が発生し、草津市においても震度6強の強い揺れを感じたと想定し、本部員27名が参加し机上訓練を行いました。今回の訓練概要は、去年の訓練の反省を踏まえ、より充実した内容となるよう本部員が自分の担当を把握し、活動することを目的に実施しました。

本部員が出動時に見た被害状況と町内会長からの被害状況報告を地図上に落とし込み、被害状況の判断をし、本部として取組むべき緊急性のあるものを各部員に指示し、各機関への出動要請、災害用資機材の貸出要請、市対策本部への被害状況の報告等を行いました。初期の訓練に比べ、少しずつではあるが部員としての行動レベルが向上できたと思っています。今後も、訓練を通して更なるレベルアップを図っていききたいと思います。



被害を想定し、その内容を地図に落とし込んでいく部員たち

### 安全安心のまち推進部会が 普通救命講習を受講！

2月7日（火）、安全安心のまち推進部会では、南消防署にて掲題の講習を受講しました。119番通報の体験訓練、心肺蘇生法の訓練、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を学び、次に参加者全員で心肺蘇生法やAEDを使用して総合的な体験実習を受けました。座学では、普段の健康管理と健康観察の重要性、救急車の適正利用を学びました。今回は3時間の講習を受講し「普通救命講習修了証」を受領しました。

まち協では、今後多くの方に受講していただく取り組みとして、矢倉学区災害対策本部員の皆様にご受講を進めていきたいと思っています。



真剣に救命講習に取り組む部員

### わんぱくプラザ矢倉っ子 「昔遊び体験」開催！

2月4日（土）、矢倉市民センターで、老人クラブ連合会と民生児童委員協議会の指導のもと、小学1～6年生の22人の児童が参加し、チャンバラ・お手玉・おはじき・こま回しなどの昔懐かしい遊びを体験したり、紙飛行機を作り、飛ばして楽しみました。子ども達が、コマを回せるようになった時の嬉しそうな笑顔や、おはじきを楽しんでいる姿が印象的でした。



おはじき、キラキラしてきれい！



お手玉、むずかしいね

### 更生保護女性会・BBS会寺子屋による「焼き芋体験」

2月18日（土）、玄甫町野上公園で初めての試みとして、焼き芋体験を行いました。玄甫町の有志の方に火おこしやカマドベンチの使い方など色々ご協力をいただき、寺子屋の仲間たちがアルミホイルに包んだ芋を火の中に入れて思いおもいに焼きました。参加者の感想を一部を紹介します。

- ・地域の方々との交流を含めた焼き芋パーティーはとても面白かった。またやってみたいです。（中学生）
- ・初めての焼き芋は面白く、やりがいがありました。（中学生）
- ・皆が楽しそうでした。今後も機会があれば是非行ってほしいです。

火を使ったイベントはとても良い体験になりました。（21歳）

・火の加減が難しく最初は上手に焼けなかったが、芋はとても美味しかった。（22歳）  
焼き芋体験の後は、玄甫町集会所で、温かく美味しい豚汁を振舞い、自己紹介や意見交換を行って交流を深め、意義ある一時を過ごしました。

（更生保護女性会）



豚汁を食べながら楽しく交流♪



### 「知っている」と「できる」のでは大違い！

いつ災害が起こっても慌てずに対応できるよう日頃から取り組むことが大切です。是非、試してみてください。

#### 緊急時に慌てない会話のしかた

##### 人が倒れていたら

**具体的に指示することが大切！**

- 周囲の人に向かって、  
手で指しながら、目を合わせて…
- 「その、帽子をかぶったあなた！  
「心臓マッサージを手伝ってください」
- 「その、赤い服を着たあなた！  
「119番に電話してください」
- 「その、眼鏡をかけたあなた！  
「AEDを持ってきてください」

##### 119番への電話のかけ方(救急)

**「救急」か「火事」を、まず伝える！**

- どうされましたか？  
⇒ 救急です
- 場所はどこですか？  
⇒ 公民館の近くです

☆誘導にそって、おちついて答えること。  
ポイントがわかれば短い言葉でOK！

#### <できると思っていること>

誘導された通りに言えばいいんでしょ。簡単！と思っていませんか？  
慌てるという言葉はでてこないものです。ご家族で、一度模擬練習をしてみてください。  
**急な場面でも慌てない安心安全な暮らしを！**

### 伝言板

新一年生を祝い、矢倉っ子の健やかな成長を願って…

4/15

土曜日

10:00 ~ 12:00

雨天決行



自由参加・無料

## 矢倉っ子のぼり

オリジナル鯉のぼりを作って、  
矢倉の大空高くあげませんか？

ゲームタイムは、刀と兜を作ってチャンバラをするよ！  
12：30ごろからぜんざいと豚汁のふるまいもあるよ。  
(先着各80食、なくなり次第終了！)

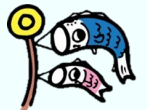
大人の方の参加もお待ちしています。

\* 記録した写真はみらい通信やまち協ホームページに掲載することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

問合せ先：矢倉学区未来のまち協議会 健康推進部会  
矢倉まちづくりセンター内 ☎565-1560

#### 鯉のぼり寄贈のお礼

新たに、東矢倉の西田様と馬池の馬場様より  
鯉のぼりを寄贈して頂きました。  
ありがとうございました。



ウロコに書いて  
の願いを書いて

場所：矢倉小学校グラウンド  
集合：体育館  
持ち物：すいとん・タオル  
うわぐつ

\* 掲揚期間4/8~5/6まで

#### 矢倉まちづくりセンターの職員紹介

今年度から指定管理により、まちづくりセンターの職員として、下記5名が勤務します。  
よろしくお願いたします。

- 矢倉まちづくりセンター長 (兼)
- まち協事務局長 三小田幸雄
- 職員 中尾隆子 大城和美
- 清水恭子 宇川美江

#### 退任のあいさつ

3月31日付けをもって市民センター職員を  
退任しました。在任中は地域の皆さまには大  
変お世話になり、ありがとうございました。  
皆さまの今後益々のご活躍と矢倉学区の発展  
をお祈りしています。

- 矢倉市民センター 所長 大崎恭義
- 副所長 吉田邦彦